

## ➤ 1日 水曜

### テモテⅡ



1:1 神のみこころにより、キリスト・イエスにあるいのちの約束によって、キリスト・イエスの使徒となったパウロから、  
1:2 愛する子テモテへ。父なる神および私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。

1:3 私は、夜昼、祈りの中であなたのことを絶えず思い起こしては、先祖以来きよい良心をもって仕えている神に感謝しています。  
1:4 私は、あなたの涙を覚えているので、あなたに会って、喜びに満たされたいと願っています。

1:5 私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています。

1:6 それですから、私はあなたに注意したいのです。私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。

1:7 神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。

1:8 ですから、あなたは、私たちの主をあかしすることや、私が主の囚人であることを恥じてはいけません。むしろ、神の力によって、福音のために私と苦しみをとともにしてください。

パウロは祝福の祈りから始めています。このようにどんなときも、誰かと関わりを持つ場合は祝福のことばや祈りで始めましょう。いつでも誰かを祝福する思いを持ちつつ会話ししましょう。

テモテはパウロから信任された若き牧師でした。彼の純粋な信仰は、クリスチャン三代目であるからでしょう。信仰は個人の内面的なものですが、幼い頃からの信仰的な環境は、その人に素晴らしい影響があるとわかります。家庭の霊的な雰囲気や信仰教育のために最善を尽くしましょう。

そこでパウロはテモテに勧めています。テモテは若いということもあって、少し引込み思案だったようです。私たちも「神の賜物を、再び燃え立たせる」ように、神様から求められている貨も知れません。主のためなら「恥る」ことはありません。主のまめに働く誰かと「苦しみをと」ものにしつつ、「力と慎み」で再出発しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

